

すてきなプレゼント



本校が今年度の「教弘スクール・フォローアップ事業推進校」として認定され、教育研究助成金のプレゼントがありました。ぜひ、子どもたちの教育活動に活かしたいです。

6年修学旅行



10月24日(水)～25日(木)、6年生が広島・上蒲刈島へ修学旅行に行ってきました。晴天にも恵まれ、一人ひとりが思い出に残る2日間となりました。

5年稲刈り



10月17日(水)、5年生が稲刈りを行いました。良い天気の中、子どもたちは地域の方から、稲の刈り方や束ね方を教わり、たくさんのお米を刈ることができました。

放課後や休みの日の帰る時間について

●放課後や学校が休みの日に校庭で遊ぶときは、安全のため、時間がきたら遊ぶのをやめて帰ります。

【授業のある日】

1月・2月	… 午後5時	3月・4月	… 午後5時30分
5月～8月	… 午後6時	9月・10月	… 午後5時30分
11月・12月	… 午後5時	【学校が休みの日】	… 午後5時

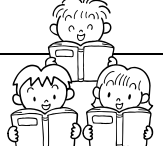


平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果概要について

本年4月に、6年生を対象に実施いたしました全国学力・学習状況調査の結果概要および考察をご報告いたします。

なお、調査結果は、学力や学習状況・生活状況の特定の一部であります。今回の分析結果は、今後の教育活動の改善に活かしてまいります。

1. 学力調査における本校の特徴

国語 A	○とくに、筋道をたてて話す問題の正答率が高い結果となりました。 ○主語と述語との関係に注意して文を書く問題で課題がみられました。	国語 B	○「話すこと・聞くこと」では、良好な結果でした。 ○「書くこと」で課題がみられ、とくに、話し手の意図をとらえながら自分の意見と比べて考えをまとめて書く問題で課題が見られました。
算数 A	○「数と計算」「量と測定」領域の正答率が高く、概ね良好な結果でした。 ○180°より大きい角を求める問題や、円周率の意味について理解を問う問題など「図形」の領域で課題が見られました。	算数 B	○どの問題についても、全国平均と同等か大きく上回り、良好な結果でした。 ○式や言葉を使って説明を書く問題での無回答率が少なく、論理的に考えて答える問題での正答率が向上しています。
理科	○実験結果をもとに考察して記述する問題で、全国平均を大きく上回り、考える力の向上が見られました。 ○流水のはたらきについての科学的な概念の理解度が高く、全国平均を大きく上回りました。		

2. 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査の結果

◇学習意欲・学習継続力の向上が見られました。 ◇「論理的に考える力」の向上が見られました。 ◇家庭学習の工夫が必要です。 ◇すすんで読書をしています。

◇テレビを見たり、ゲームやインターネットをしている時間の多さが気になります。

3. 今後の取り組み

☆すべての子どもが「わかった!」「できた!」と感じられる授業づくりをすすめます。

【一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います】

昨年度の本学年は、学年4分割での少人数指導や自分でコースを選択するコース別学習を行ってきました。また、わからないことを放っておくのではなく、すぐに解決できるように、学習室での個別の学習補充も行ってきました。今回の質問紙調査は、「算数の授業の内容はよくわかりますか。」の質問項目では、肯定的な回答が全国平均を大きく上回り、授業への満足度がうかがえました。今後も、高学年の算数の授業では、少人数学習や、コース別学習を取り入れ、すべての子どもたちが、基礎・基本を定着させ、また発展的な問題にもチャレンジできる授業づくりをすすめていきます。

【家庭学習の指導を継続していきます。】

本校では、通常の宿題に加えて自主学習ノート「ジャンプアップノート」に取り組んでいます。子どもたち自身が取り組む内容を決め、学習をすすめ、最後に自分の学びをふりかえるようにしています。取り組んだノートをクラスで交流したり、校内に掲示したりすることで、どのように家庭での自主学習をすすめるのかを学べるようにしています。「ジャンプアップノート」をきっかけに子どもたちの家庭での学習習慣を育てていきたいと考えております。保護者のみなさまがコメントしてくださっていることが、子どもたちの励みになっています。これからもご協力よろしくお願いいたします。

☆すべての子どもが、授業や行事、日々の取組で「つながる」「つなげる」ことを大切にします。

【自分で考えたことを伝えあい、「学びを広げ、深める授業」をすすめます】

今回の調査結果では、「理科の授業で自分の考えをまわりの人に説明したり、発表したりしていますか。」の質問項目では全国平均を大きく上回りました。「学びあい、ともに高めあう子どもの育成」をめざした本校の授業づくりの取組の成果ととらえています。しかし、「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」の質問項目で肯定的な回答をした子どもの割合は上昇傾向にあるものの、満足いく結果は得られませんでした。今後の授業づくりでも、よりいっそうペアやグループまたはクラス全体で、自分の考えや思いを言葉で表現し、伝え合うことを大切にします。一人ひとりの学びが授業の中で共有されることで、クラス全体の学びを広げたり、深めたりする授業を通して、子どもたちが、つながりの中で学び、学びの中からつながりを育むことを大切にしていきたいと考えています。また、これらの授業づくりについては、指導内容や指導方法が一貫したものとなるよう、中学校区全体で連携して研究や実践に取り組んでいきます。